

令和8年度 学校経営計画書

学校名	倉敷市立水島中学校
校長氏名	赤澤 信治

○ 本校のミッション（使命、存在意義）

本校は水島地区の中心にあり、周辺には支所や消防署、警察署、公民館、総合病院などの公共施設等が位置している。学区は西日本有数の工業地帯が控え、かつてにぎわいを見せていた商店街と歓楽街があり、水島臨海鉄道に沿うように南北に長く東西に狭い。生徒の大部分が3小学校から入学してくる。生徒数は約140名と少ないが、水島地域の将来を担う子どもたちを育てていくという使命がある。年度内に転入してくる生徒がいても、地域も生徒も自然と受け入れ、他者に寛容なところがある。

生徒は人懐っこく素直である。一方、家庭環境等の様々な要因から、集中して物事に取り組むことが苦手なだけでなく、自ら「学ぼう」「取り組もう」とする意欲の乏しい生徒が少なくない。そして低学力で不登校生徒・長期欠席の生徒の多さが本校の課題である。

実態に合わせ、生徒の持っている力を引き出すことで夢と希望を持ち、水島中学校の友達や先生に出会えてよかったと思えるような、将来の礎となる中学校生活を送らせたい。

○ ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

○ 目指す学校像

- ・ 活気あふれる楽しい学校
- ・ 安心安全で落ち着いた環境の学校
- ・ 保護者や地域に信頼される学校

○ 目指す生徒像

- ・ 何事にも前向きに取り組もうとする生徒
- ・ 自他を大切にする思いやりのある生徒
- ・ 社会に貢献したいと希望が持てる生徒

○ 目指す教師像

- ・ 自身の専門性を磨き、生徒の能力を引き出そうとする教師
- ・ 生徒の気持ちに共感でき、生徒の側にいて、生徒と共に行動できる教師
- ・ 互いに認め合う、明るく楽しく活気のある教職員集団

○ 当該年度の具体的な学校経営目標・計画

1 学校教育目標

- 自ら学び、主体的に課題を解決しようとする生徒の育成
- 互いに支え合い、友と和し、思いやりの心をもった生徒の育成
- 豊かな社会性を身につけ、たくましく生きていく生徒の育成

2 教育指導の重点

- 基礎・基本の定着
- 心の教育の充実
- 奉仕・体験活動の推進

3 具体的な計画

(1) 基礎・基本の定着

- ① 基本的な生活習慣の徹底（あいさつ、服装、時間、言葉遣い）
- ② わかりやすい授業を目指した指導法の工夫
- ③ 家庭学習の定着と指導（小中連携）
- ④ 支援が必要な生徒への指導法の工夫
- ⑤ 生徒用 Chromebook の有効活用

(2) 心の教育の充実

- ① 規範意識の醸成
- ② 道徳教育・人権教育の充実
- ③ 美しい環境づくり
- ④ 食育・健康教育の充実
- ⑤ 読書習慣の定着と図書館教育の推進

(3) 奉仕・体験活動の推進

- ① 清掃指導、校内の環境整備への協力などボランティア活動の推進
- ② 生徒会活動の充実（生徒が主体的に活動・活動の見える化）
- ③ 保護者・地域と連携した行事の推進
- ④ 行事を通しての集団形成

当たり前のことを当たり前 **明るく楽しく活気ある職場づくり**